



女神

めがみのきづあゆ

の

御

神





銀の髪の乙女なら  
大手柄だぞ



暁の団など  
この女をのぞけば

ただの盗人集団に  
すぎん

連行しようぜ

さっしー





頭の中に入ってくる！

この人たちの  
私に向けられてる思いが…



や…やだ…  
この人たち  
何をするつもりなの？



^^^…

これが  
銀の髪の乙女か…

こいつは  
思ったよりも…  
ククク…





へへ…この女…  
將軍に渡す前に  
オレが遊んでやりてえな

そうだな…  
まずは…

縛り付けて  
動けなくして…

体中を  
舐め尽して  
やりてえ…



どんなにイヤでも  
全然逃げられず…

もがく姿も  
見てみてえな…





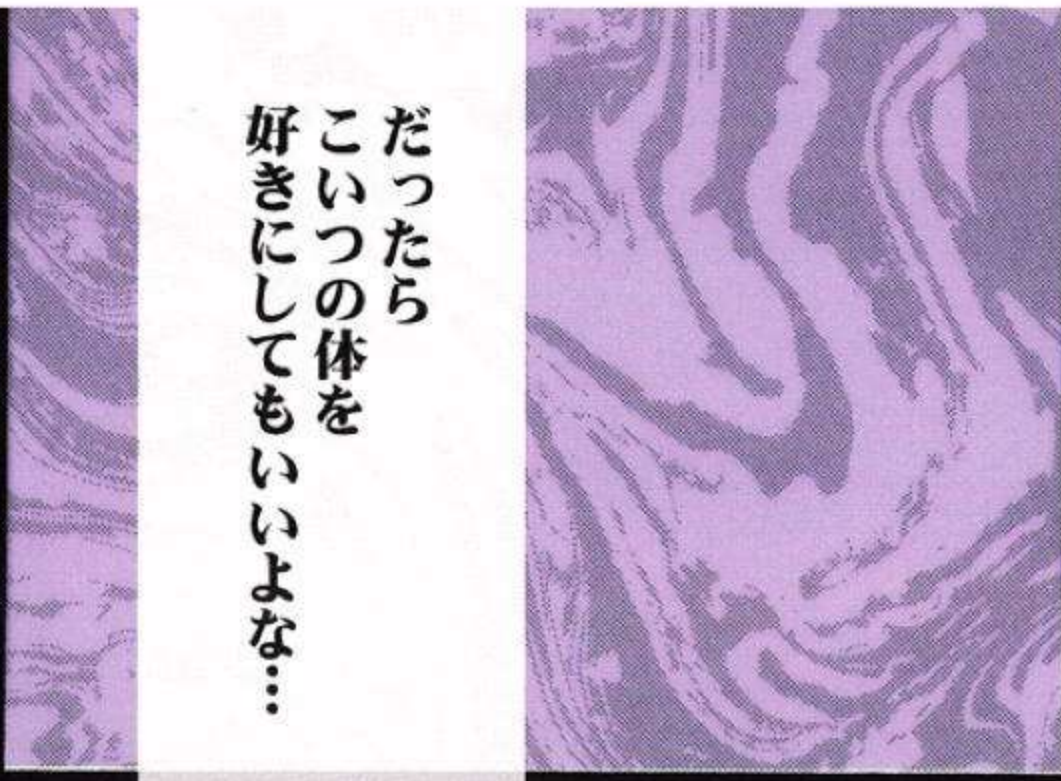
何度もイカセ  
まくるのもいいな

抵抗を諦めるように  
なるまで  
何度も何度も  
イカせてやる...





どうせ  
こいつは処刑される



だったら  
こいつの体を  
好きにしてもいいよな…



いきなり  
チ○ポを突っ込んだら  
どんな顔をするかな？

…!!

この小生意気な女も  
スゲー焦った顔  
するんだろうなあ…




逆にアナルを  
責めるときは  
ゆっくり焦らすのも  
いいな

やめてッ！


おねがい  
許して！

今度は必死こいて  
許しを請う顔を  
してくるかな…  
ククク…






この女は  
他の団員のことを  
はかせるために  
拷問をうけるはず



オレが拷問  
してやりてえ



絶対にイカせない  
寸止め地獄…

どんなにイキたくても  
イカせず  
何時間もギリギリのところまで  
責め続ける

これで堕ちなかった  
女はいねえ



全部情報をはいた後も  
無意味に  
拷問を続けてやる

オレが  
飽きるまで  
いたぶり続ける







ククク...

^^^...

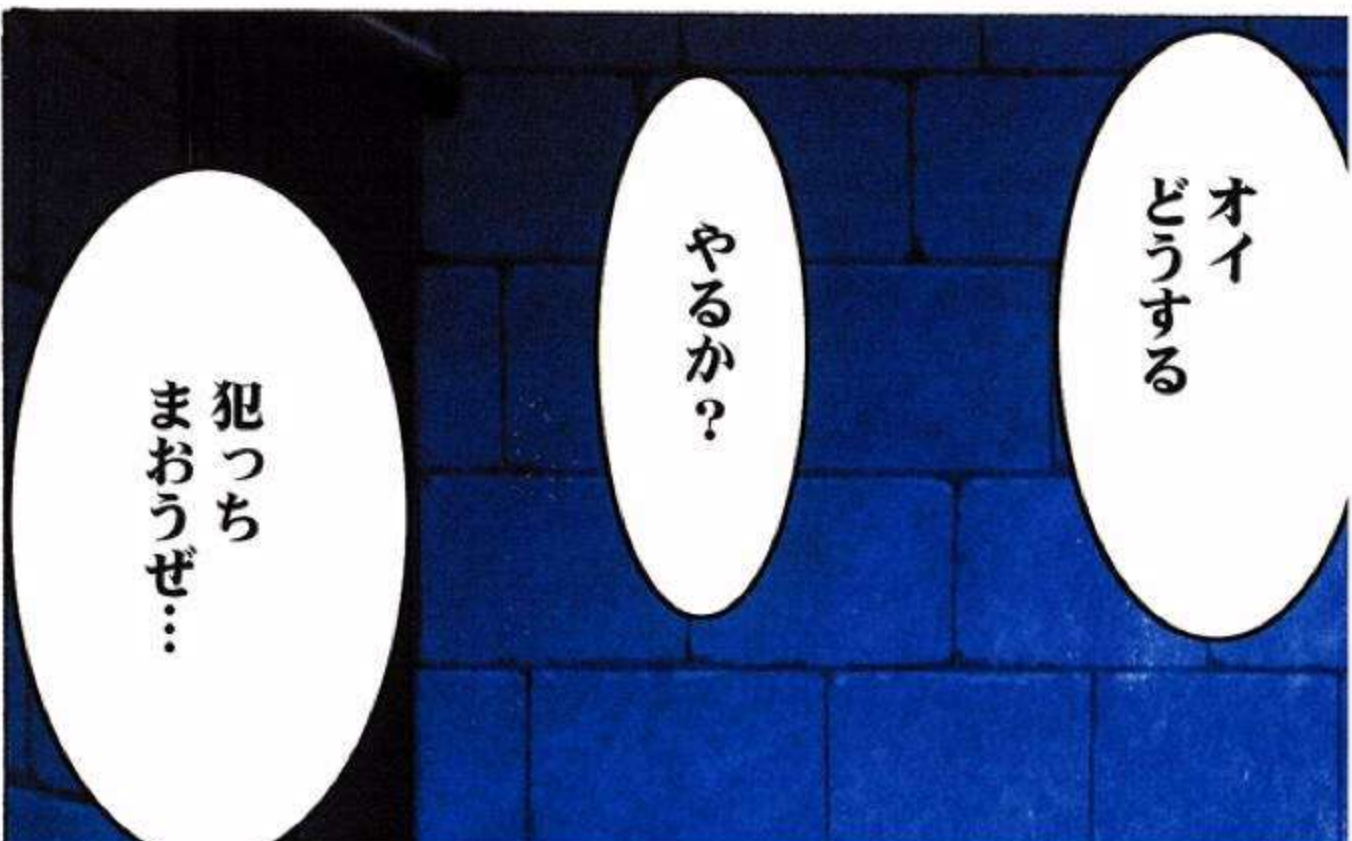


ちめっしー...

ちめっしー...



!!!



オイ  
どうする

やるか?

犯っち  
まおうぜ...





いやああ！



いざっ！



あつ!

いやあ  
あああツ!



よかつたぜ  
今の焦った顔

想像  
通りだ

ん  
ッ!

ん  
ッ!

うる  
うる

何もしてないのに  
濡れてたぞ

アム

しかし  
ヌルツと  
入ったな

お前も卑猥なこと  
考えてたんじゃ  
ないのか

アム

ち…違ッ!









そんなにムチャしたら  
この子が  
かわいそうだろ？

オレが気持ちよく  
してやるからな

んっ…



んんんッ！



まあ後で  
ケツの穴に  
突っ込むときに  
堪能するか

ゆっくりじっくり  
精神的に  
追い込みながらな

んっ！

…ッ！



おいおい  
口を塞いだら  
許しを請うセリフが  
聞けないじゃないか

んっ！

知るかよ  
後でやれよ

…！





うる  
うる

ん  
ん  
ん  
ッ!  
!

ン  
ン  
ン  
ン  
ン

ン  
ン  
ン  
ン  
ン





テイアマトをおびき出すための  
人質として  
山賊に捕らわれたミスト。





おろして！

やだっ！

赤毛の女が  
来る前に  
コイツも  
やっちまうか





「やめて！  
おねがい…やめて！」  
無力なミストは  
何度も何度も懇願した。  
しかし無慈悲な男たちには  
まるで無意味だった。





ミストを助けにきた  
ティアマト。  
愛する男の娘の  
命と引き換えに  
みずから賊たちの  
肉奴隷になることを  
受け入れる。  
さっそくと言わんばかりに  
憎らしい女に  
肉棒をしゃぶらせる男たち。



ほら  
出すぞっ！

次は  
オレの番だぜ

両手両足を固定され  
男たちが  
好きなき好きなきだけ  
精液を流し込む肉便器に  
されてしまった。  
仲間が助けにくるまで  
2日間犯され続けた。





「くそっ！半獣め！」  
忌み嫌う半獣に犯され  
これ以上ない屈辱を  
受けるジル。  
『なりそこない』は  
欲望のまま  
ベオクの女の穴を  
騷りつくした。



こうなることは  
分かって  
やってきたのでしよう  
エリンシア殿

そ…そんな…!!  
私は…!!

貴族の反発で国政がうまくいかず  
困り果てていたエリンシアに  
有力貴族に一人が救いの手を  
差し伸べようと  
声をかけて来た。

一人 貴族の部屋に訪れた  
エリンシア。  
貴族はエリンシアを  
膝の上ののせ  
エリンシアをまるで  
娼婦であるかのごとく  
扱いはじめた。

焦るエリンシアだったが  
有力な協力者に  
強く抵抗することも  
出来ず、  
老獪なテクニクによって  
次々と羞恥の門を  
突破されていく。



「おねがいします…  
もう許して…くだ…さい！」  
「んん？」  
ホントにやめても  
いいですか？」

ふかぶかとペニスを  
突き刺されてしまった  
エリンシアは  
もう逃げることが  
できなかつた…。

んっ…





イズカに捕まってしまったワユは  
謎の生物のいる牢屋に入れられた。  
いくつもの触手が股間のまわりを蠢き、  
未体験の快感を女剣士に送り込んでくる。  
ワユは絶え間ない淫激に身悶え  
剣にしがみつくなのがやっとなった。



ずん ずん



あああああ  
あああああ！

これはいい  
若くて元気な女の  
実験体が手に入ったな

休む間もなく  
一日中触手に股間を  
苛め抜かれたワユは  
力尽き  
もう反抗する体力も  
なくなっていた。

これなら  
いろいろ  
やれそうだ





繰り返される生体実験により  
肥大化したクリトリスを  
なりそこないに弄ばれる。

…!!

敏感すぎる剥き出しの突起は  
異形のものゝ責めにも  
激しく反応し、  
全身に狂おしいほどの快感を  
走らせていた。

ん  
ッ!

ッ  
ッ  
ッ

ッ  
ッ  
ッ





秘密の連絡場所は内通者のせいで  
ルドペックに筒抜けだった。  
何も知らず一人でやってきたルキノを  
大勢の兵士が取り囲む。  
ルキノは武器を捨て投降するしかなかった…。

私は貴女のなさることなら  
どんなことだって  
知っているんですよ  
愛しい愛しいルキノ殿





本当にあなたは  
素晴らしい女性だ

あ、の、愚、鈍、な、る、女、王、の  
下、に、い、る、の、が  
も、っ、た、い、な、い、ほ、ど、の、ね

ん、っ、  
...

取り上げられた  
自分の剣で  
衣服を切り裂かれる。  
イスに縄で縛られる。



女王のことを心配する  
余裕を与えないほど  
性的に責めあげる  
ルドベック。  
ルキノはとんでしまいそうな  
意識を保つだけで  
精一杯だった。

ルキノ殿：  
あなたの頭の中は  
今まさに私のことで  
張り裂けんばかりに  
いっぱいなのでしようね

教えて差し上げますよ  
あなたの知りたいことは  
なんでも

私が連絡員から  
どれだけの  
情報を手に入れたか  
ですか？

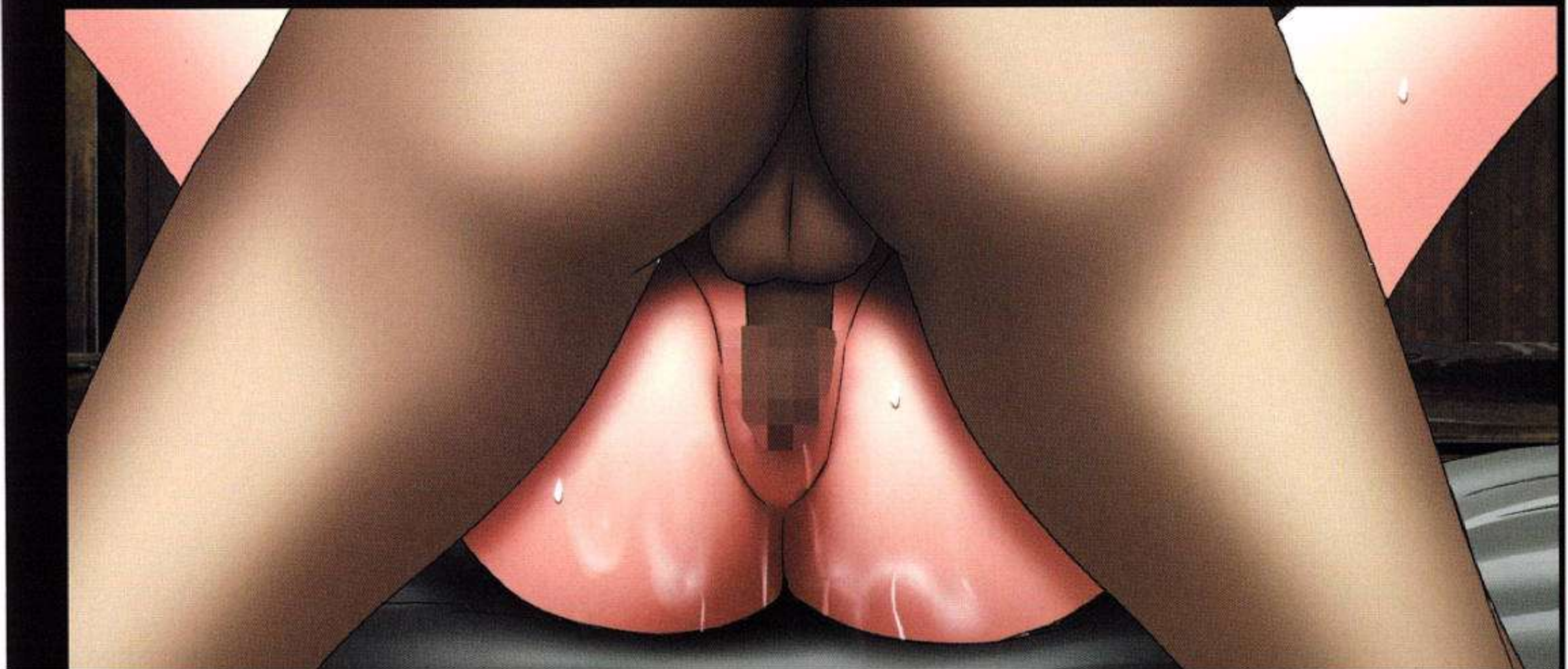
これからあなたが…  
いったいどういう運命を  
迎えるのか  
でしょうか？

ほあ

ほあ

ほあ









「へへ…さすがのマリカさんも  
もう何もできねえだろ？」

酒場でマリカに無視され続けてきた  
男たちが  
マリカを犯すために手を組んでいた。  
酒にしびれ薬を仕込んだり  
他の客を入れないようにしたりして  
完全な準備をしていた。  
傭兵の仕事が終わり、  
疲れていたマリカは何も気づかず  
まんまとその罠にかかってしまった。





「ん！」  
無言を貫きとおしていた  
マリカの口から  
嬌声がこぼれる。

「おお…いいねえ…」  
「もっともっと」  
鳴かせてやるからな」

普段  
絶対聞くことのないような  
傭兵マリカの女としての声に  
異様な興奮を覚える男たち。





「……こんなの……  
気持ちよくもなんともない……！」  
強がってはいるもおの  
男たちの愛撫を受け、  
感じまくっている様は  
誰の目にも明らかだった。

男たちは  
手足をおさえつけられて動けない  
マリカの体に  
今まで溜まった性欲を思い思いに  
ぶつけていった。







テーブルに乗せられたご馳走を  
みんなでつまむかのように  
大勢の男たちが四方八方からマリカの体を弄ぶ。  
ひとつひとつの責めに敏感に反応し  
のけぞる様は男たちの興奮をさらに増幅させる。



普段と違って  
セックスのときは  
反応が  
いいじゃねえか

こんな  
かわいい声  
だったんだなあ

普段は無視してきた男たち：  
しかし今は肉棒をぶちこまれ  
男の喜ぶような反応をしまつていて…。  
どんなに悔しくてもこの悪夢のような現実を  
受け入れるしかなかった…。







駐屯軍に連行され  
さまざまな拷問を受けるミカヤ



絶対にイカせない  
寸止め地獄！

どんなにイキたくても  
イカせず  
何時間もギリギリのところで  
責め続ける

これで墮ちなかった  
女はいねえ

クリミアの有力貴族に  
若い体を弄ばれるエリンシア



山賊はティアマトに復讐するため  
ミストを人質にとる

ティアマトをおびき出す  
人質として  
山賊に捕らわれたミスル



分かって  
やってきたのでしょうか  
エリンシア殿

そ...そんな...  
私は...

イズカに捕まり  
生体実験を受けるワユ



誰もいない小屋でルドベックたちに囲まれ  
犯されるルキノ

彼女のなまことなら  
さ...さ...  
い...い...  
い...い...  
い...い...  
い...い...

普段は無視してきた男たち...  
しかし今は肉棒をぶちこまれ  
男の喜ぶような反応をしてしまっている...  
どんなに悔しくてもこの悪夢のような現実を

酒場で周到な男たちの罠に  
はまって輪姦されるマリカ



18歳未満の方は購入できません





# 女神の傷痕

2007年 5月27日発行  
印刷 大陽出版  
発行 クリムゾン  
<http://www.alles.or.jp/> 